

## モニタリング結果報告書

**施設** 東高根森林公園  
**指定管理者** 横浜緑地・西武造園グループ  
**施設所管課** 横浜川崎治水事務所川崎治水センター

(平成 23 年度 下半期)

### 管理運営状況総括

**1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）**

B

**<判定理由>**

提案内容を着実に取り組んだ結果、利用者満足度調査で良好な評価を得ており、利用者要望にも適切に対応していることから、良好な管理運営状況であった。

特に、下半期は新規イベントの開催を契機に地域団体との交流を図るとともに、各種広報媒体に積極的なPRを行い、利用促進を図る顕著な努力が見られた。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

**2 月例報告書によるモニタリングの概況**

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月10日	12月5日	○	○	○	なし	イベントが好評を得て行われていることを確認した。落葉・ごみ清掃と火災の予防について話し合った。
11月	12月9日	12月27日	○	○	○	なし	緊急時の適切な体制の強化について確認した。
12月	1月10日	1月19日	○	○	○	なし	落葉清掃が行われていることを確認した。遊具等の定期点検への対応について話し合った。
1月	2月10日	3月15日	○	○	○	なし	除雪作業が即時行われていることを確認した。園路の滑り・転倒事故防止について話し合った。
2月	3月12日	4月6日	○	○	○	なし	倒木事故防止の対応について話し合った。
3月	4月20日	5月8日	○	○	○	なし	地域交流・利用促進の取組みが進められていることを確認した。

### 3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

〔指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。〕

#### <提案内容の概要>

- ① 魅力的で人気の高いイベントを継続実施・ニーズに対応したイベントの開催
- ② 平日・閑散期の利用促進
- ③ イベントや最新情報を積極的に広報PR
- ④ 東高根遺跡の詳細な解説資料を作成し配布する
- ⑤ QRコードを活用した自然解説システムによるサービス提供
- ⑥ 地域と協働でノベルティーやキャラクターの開発
- ⑦ ユニバーサルサービスによるイベントの実施
- ⑧ 地域と連携した企画の実施
- ⑨ パークコーディネーターを配置し多様なニーズにきめ細かく対応したサービスを提供
- ⑩ 公園利用者のセルフガイドとなる「(仮称)東高根図鑑」の作成

#### <実施状況>

- ① 年間69回のイベントを開催し、アンケートでも高い満足の回答を得た。
- ② 公募による夏の「花」「風景」、愛好家による冬の「鳥」の写真展を開催した。平成24年度は近隣小中学校に環境学習プログラム等を提案していく。
- ③ 雑誌、観光機関等の取材に対応し、ホームページを随時更新した。また、地元自治会の掲示板等にイベント情報を掲示するよう依頼した。さらに、下半期から新聞の地域版に季節の情報の掲載を働きかけた。
- ④ 弥生時代の住居や衣服のレプリカを展示済み。下半期はさらに遺跡の解説資料を展示した。今後は川崎市民ミュージアムの協力による土器の展示などにより利用者の高い要望に応える。
- ⑤ QRコードを貼り付けた植物名板を設置済み。今後も充実させていく。
- ⑥ 地域の人形作家によるキャラクターを作成し公表済み。携帯ストラップや各種案内に活用した。今後もイベントで活用すること等で認知度を上げていく。
- ⑦ 今年度は高齢者や障がい者向けの企画のニーズ、講師の調査を行っており、下半期は福祉施設との交流を図り、イベント内容を検討しており、平成24年度から実施の見込み。
- ⑧ 今年度は公園協議会、来年度は地域自治会等に企画の募集を行い、平成24年度下半期から段階的に実施の見込み。
- ⑨ 専任のパークコーディネーターを配置し、利用者へ直接働きかけて細かいニーズを把握し、植物図鑑等の増設、タイムリーな開花情報の提供、展示物を充実させるなど、サービスに反映させた。
- ⑩ 今年度は掲載写真の選別や原稿作成など、発刊に向けた準備を行っている。平成24年度は原稿決定と印刷製本準備を行い、平成25年度に発刊する予定。

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	50,370 (50,160)	44,310 (44,100)		6,060 (6,060)	50,370 (50,160)	0 (0)
下半期予算 額	26,192	24,192		2,000	26,192	0
10月	3,810	3,103		706	4,308	△498
11月	4,548	3,928		619	4,848	△300
12月	3,886	3,886		0	3,345	541
1月	3,725	3,725		0	3,413	312
2月	3,867	3,867		0	3,874	△7
3月	6,082	5,679		402	10,330	△4,248
今年度 半期計	25,921	24,192		1,728	30,121	△4,200
前年度 同期計	25,819	23,910		1,909	17,214	8,605

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。  
2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。  
②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。  
③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

- ① 該当なし  
② 駐車場収入が落ち込んだうえ、台風及び降雪時の倒木の除去処理作業費が高んだこと、業務の進捗を図るためスタッフを増員し人件費が増加したこと、東日本大震災を踏まえた防災フェアの実施など当初の予算計画外のイベントを実施したため収支差額がマイナスとなった。  
対応策としては、危険木等は調査のうえ伐採、下枝払いなどにより突発的な倒木を極力防止するなど、計画外の支出を抑えることが考えられる。  
③ 上述の予算外の支出と合わせ、上半期の作業予定及び支払いが下半期にずれ込み、上半期の予算を下半期に執行することとなったため。

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	なし	
下半期	2,490千円	木栈道補修工事（1,491千円） 高木剪定（999千円）
総額	2,490千円	

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。  
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

## 5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	34,922人	35,163人	△0.7%
11月	37,654人	35,313人	6.6%
12月	23,296人	27,271人	△14.6%
1月	20,308人	24,414人	△16.8%
2月	20,874人	22,087人	△5.5%
3月	25,977人	24,830人	4.6%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	なし	168,461人	177,980人		△5.3%
今年度下半期計	なし	163,031人	169,078人		△3.6%

### 利用状況に関する意見等

①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

該当なし

## 6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

下半期報告	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
合計	14 (0)	1 (0)	0 (0)	62 (0)	0 (0)	77 (0)

## 7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。）

分野	概要	対応状況
施設・設備	・ 木栈道が滑る、直してほしい	県が修繕で対応した。今後も補修を継続する予定。
	・ 案内をわかりやすくしてほしい	県が案内板増設工事を実施。散策ルートマップ等の案内を充実させる予定。
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・ 落葉の処理をしてほしい	園内および外周の落葉清掃を徹底した。
	・	
	・ 樹木、花、鳥の情報がほしい	花マップや見ごろ情報等の展示を充実させた。
その他	・	
	・	

## 8 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。）

⇒該当なし

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日			
月 日			

9 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

⇒該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 下半期の所見等

〔 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>下半期に所長の交代、副所長の増員を図り、事業計画書の提案事項のうち実施が捗っていない項目を特に意識して業務を進めた。</p> <p>特に近隣の区役所・消防署などの関係機関や町内会・自治体の協力により防災に関係するイベントを開催するなど、連携に力を入れた。次年度から、より連携を強化し、さらに地域住民の活力を取入れることで、効果的・効率的な公園の管理運営を進めることができると考える。</p>
施設所管課	<p>下半期は、パークコーディネーターを始めとする公園スタッフが、利用者の要望をサービスに反映する取組みとして、イベントや開花情報などの積極的な広報活動に努め、また、地域の自治会や防災機関との交流に努めるなど、利用促進に率先して取り組み、評価できる管理運営であった。また、公園スタッフの利用者への対応が向上した。</p> <p>今後は、提案の「ボランティア登録制度」、「ユニバーサルイベントの実施」などの実現を目指し、着実な実施に向けた取組みが求められる。</p> <p>また、公園利用者とのきずなや、地域との連携を大事にしたパークマネジメント実践の更なる向上を期待する。</p>